

重点実施事業

望ましい環境像の実現にむけて、とくに緊急に取り組んでいく重点実施事業として、平成16年度から平成23年度にかけて、3つのプロジェクトを推進していきます。

プロジェクト1

フクロウと子どもたちの森プロジェクト

浦代の樹林地で、我々の生存基盤である自然環境、鳴門の原始の森（照葉樹林）を再生します。また、森および施設を含む地域一帯を本市のピオトーブネットワークや環境学習の拠点として位置づけ、自然が生き生きと輝き、子どもたちの笑顔あふれる森づくりを進めます。

森を保全・再生・創出していくための計画を策定します。自然体験プログラムの提供を行うなど、鳴門の自然について伝えるとともに、ともに守り、再生し、育てる、取り組みを進めていきます。海と源流とを結ぶ森づくり、自然再生のシンボル、将来的なピオトーブネットワークの拠点として森を保全・再生していきます。

学校におけるピオトーブの保全・創出、活用による環境教育を推めます。

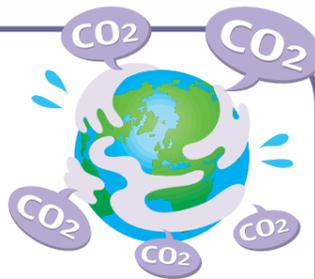


プロジェクト2

鳴門“ほどよい生活”プロジェクト

限りある資源を大切に、地域の資源を活用し、ごみや排気ガスなどをなるべく出さない、それでいて無理のない、心地よい、持続可能な暮らし、“ほどよい生活”に私たちの暮らしをかえていきます。

二酸化炭素（CO₂）の削減目標をたて、目標実現に向けた取り組みを進めます。市民の自主的な取り組みを支援します。市役所での「地球温暖化防止行動計画」を引き続き進めます。



プロジェクト3

なると環境学舎プロジェクト

「環光のまち・美しい鳴門」づくりを、ともに進める人を育てる環境教育・環境学習を進めます。

鳴門の環境づくり、環境に取り組む人づくりを行う学校を認定する「環境スクール認定制度」を進めます。「なると環光カレッジ」を開講し、“環光”の考え方を市民に伝え、取り組みを支える人づくりを行う“なると環光講座”、鳴門を訪れる人に体験や学びを提供する“鳴門まるまる体験講座”を行っていきます。



なるとの自然

道ばたの花はなに色？

野生の草花が花を咲かせる季節となりました。どんな色の花が咲いているでしょうか、赤・青・黄色・・・？

野山はもちろん、道ばたなどにもいろんな花が咲いていませんか？花の形や色、大きさ、茎からのつき方など、花によって様々ですが、今回は花の色について観察してみましょう。



ハマエンドウ モチツツジ



カンサイタンポガ



スイカズラ
甘い香りがします。



コバノタツナミソウ



ノアザミとクマバチ



イバラとカミキリモドキの仲間

目立つ花は甘い蜜がある目印。そして、花の模様は蜜の出る場所へ虫たちをみちびく矢印。虫たちに花粉を運んでもらうために、植物はいろいろな工夫をしています。草はらにねころんで、花と、花にやってくる虫たちの世界をそっとのぞいてみませんか？

春は黄色い花を咲かせる植物が多くないでしょうか。では夏や秋は？季節の変化が楽しみです。

『なると環境プラン2004 - 鳴門市環境基本計画 - 』をもっと詳しい内容を知りたい、という方は。。

市役所入口、図書館、環境政策課窓口で「概要版」を配布しています。市ホームページにて、全編を公開しています。（6月以降公開予定）直接閲覧ご希望の方は、下記場所にて閲覧・貸し出しを行っています。

環境政策課窓口（衛生センター） 市立図書館 市役所入口情報コーナー

お問い合わせは下記まで
鳴門市環境衛生部環境政策課
（電話）684-1141（ファクス）684-1372

次号発行は、9月頃の予定です。

